

報 道 資 料

平成28年11月21日
こども・女性局こども家庭課
児童虐待対策係
担当：乾・永岡
電話：(内線) 2883
(直通) 0742-27-8605

奈良県子どもを虐待から守る審議会 「第3回児童虐待重症事例等検証部会」の開催概要について

このことについて、下記のとおり報告します。

記

1. 開催目的

今年4月に生駒市において発生した2歳男児死亡事案について、再発防止及び今後の対応策の検討に資するため、関係機関の関わり等について検証を行う。

2. 開催概要

- ・ 日 時 平成28年11月21日(月) 10:00～11:30
- ・ 場 所 やまと会議室 5階 中会議室
(奈良市登大路町36)
- ・ 主な議題
 - (1) 重症事例等検証結果報告書の提言内容の検討
 - (2) 今後のスケジュールの確認
- ・ 出席委員
 - 才村 純 (関西学院大学人間福祉学部教授 (検証部会部会長))
 - 上田 庄一 (東大阪大学・短期大学実践保育学科教授)
 - 加藤 曜子 (流通科学大学人間社会学部人間健康学科教授)
 - 川真田 リエ (奈良弁護士会所属弁護士)

3. 開催要旨

○重症事例等検証結果報告書の提言内容の検討

「第2回児童虐待重症事例等検証部会」において整理検討された課題をもとに、提言内容についての検討を行いました。大きく次の3点が存在しているとの認識が示されました。今後、提言内容を精査及び整理したうえ、報告書を取りまとめます。

①職員と支援機関における専門性の維持向上のための仕組み作り

- ・面接スキルとアセスメント技術の向上のための研修会の実施
- ・専門性や援助技術の維持向上を図るための専門職採用や人事ローテーション見直し

②関係機関の連携強化と支援体制の強化

- ・虐待対応における連携方法と役割分担の明確化
- ・情報共有とリスク共有を図る仕組みの明確化
- ・組織判断及び組織対応が円滑に実施できる組織体制と職員体制の構築

③子育て支援制度や支援機関等の充実と活用

- ・虐待未然防止の観点から、地域の子育て支援に活用できる社会資源の充実。

○検証報告書の構成

- ・関係機関用の「詳細版」とプライバシーに配慮した「公表版」とともに「概要版」を作成することとなりました。

○今後のスケジュールについて

- ・12月下旬（予定）に検証部会より奈良県子どもを虐待から守る審議会に対し検証報告書のとりまとめを報告し、同審議会より県に対し、報告書をもって提言をいただくこととなります。